

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 理念・基本方針はホームページや4月の園だよりに記載されています。また、保護者アンケートでも、園長から入園の際に、詳しく丁寧な説明があったとの回答があります。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に対処している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人本部では、地域の福祉計画や子ども数の動向分析をしたり、行政との情報交換により経営環境を分析することで、今後の経営環境変化への対応に努めています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 経営状況に関する情報を一覧にしていずれも職員が閲覧できるようにしていますが、職員説明会などで経営課題を周知し、具体的改善に組織的に取り組むことを望みます。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 中・長期的な事業計画および収支計画が策定されていますが、定期的な見直しが不十分です。計画修正や推進方針の変更など、定期的に見直しをする必要があります。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 中・長期計画を踏まえた単年度計画が策定されており、行事計画のほかにも具体的な事業計画内容となっています。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
〈コメント〉 事業実施後には、必ず各クラスで反省会を実施し、次年度の計画に反映する取り組みが仕組みとしてできています。	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
〈コメント〉 保護者に事業や行事計画を説明する目的で、写真などを交えた分かりやすい文書を作成したり、保護者へのメール配信、掲示板を活用するなどの周知に取り組んでいます。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
〈コメント〉 県作成の自己評価表を活用し、年2回の職員セルフチェックを実施しています。また、園長は、年2回の職員面談で保育の悩みや要望などを聞き改善に努めています。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
〈コメント〉 月1回のクラス会議や年齢別会議において、各支援項目についての課題を明確化するとともに、解決策の検討を行っています。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 職員会議や日ごろの職員指導、定期的な職員面談などを通して、園長としての役割や責任を表明しています。園長不在時は主任が代行するなどの体制も整っています。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・㉠・c
〈コメント〉 園長は、法令遵守に関する研修への参加や、年2回の園長会での情報交換、行政からの通達などで理解を深めていますが、非正規職員を含めた更なる周知活動を期待します。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
〈コメント〉 園長は、年2回の職員面談や昼休みを利用して保育への助言や指導、その他、職員からの相談に応じたり、行事のクラス反省会に参加するなど指導力を発揮しています。	

II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<コメント> 園長は法人と連携して、職員体制の改善やICT導入による業務の効率化推進など、職員が常に働きやすい環境を整備するように積極的に取り組んでいます。	

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
<コメント> 法人では年数回、保育士養成校を訪問して保育園での取り組みや、園の状況説明に訪問しています。また、公募も積極的に行い組織をあげて職員採用に取り組んでいます。	
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉑・c
<コメント> 昇進・昇格に対する人事基準や評価する仕組みが不十分です。職員が行っている自己評価や園長面談を活用するなど、まずは簡単な評価の仕組みづくりを期待します。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㉑・c
<コメント> 園長は、職員会議やクラス会議、職員面談などを通して働きやすい職場づくりに取り組んだり、ICT導入により業務効率向上推進に現在取り組んでいる最中です。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉑・c
<コメント> 職員一人ひとりの目標設定は特にありませんが、年2回の自己評価で振り返りを行っており、園長面談時を利用して業務目標を取り決めるなどの仕組みづくりを期待します。	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㉑・c
<コメント> 県のキャリアアップ研修を人材育成計画の一つとして推進していますが、法人としての研修方針や目的を職員に周知し、教育・研修への意識が更に高まることを期待します。	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c
<コメント> 指名研修の他、公募研修も費用は園負担で派遣しています。また、職員の研修参加時にはクラス単位でフォロー体制を整え、最近ではオンライン研修も多用しています。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉑・b・c
<コメント> 実習生受入マニュアルを整備し、学校と連携して積極的な受け入れを行っています。実習の指導者は各クラスのリーダーと主任が担当し、丁寧な指導を行っています。	

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ ⓑ ・c
<コメント> ホームページにより法人の理念や保育内容、社会福祉法人の「財務諸表等電子開示システム」で財務情報を掲載していますが、利用者周知という点での工夫を期待します。		
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 法人本部へは会計顧問の専門家が月1回訪問し、経営に関するアドバイスを受けるなど、適正な経営・運営が行われています。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 園が所有する畑では、婦人会など地域の方々の協力を得て、子どもが一緒になって種をまいたり、野菜の収穫を行うなど、子どもと地域との交流が図られています。		
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	ⓐ ・b・c
<コメント> ボランティア受入マニュアルを整備し、菜園の野菜収穫や絵本の読み聞かせ、周辺の美化活動、学生の食育活動実践の場とするなど、積極的に受け入れています。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 市の子ども支援課や障がい児検討委員会などへの定期参加や、その他関係機関と密に情報交換を行うなど、適切に連携が図られています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みが行われている	ⓐ ・b・c
<コメント> 園内に「子育て支援センター」を設けることで、地域の子育て家庭の保護者と子どもに交流の場を提供しながら、地域の福祉ニーズの把握に努めています。		
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ ⓑ ・c
<コメント> 法人では、地域のクラブ活動や住民の方々に遊戯室を解放しています。今後は、保育の専門性を生かした公益的な活動にも取り組まれることを期待します。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 子どもの尊重や基本的人権への配慮については、園長から職員会議や日々の保育現場で、都度職員に対して周知したり指導に取り組んでいます。	
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・㉡・c
<コメント> 子ども・保護者に対するプライバシー保護への意識は、職員アンケート結果から非常に高いことが伺われますが、保育場面に応じたマニュアル等の整備が望まれます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
<コメント> ホームページでは理念や保育方針、行事計画、子どもの保育の様子など、写真を多く取り入れた情報発信をしています。また、見学時は園長・主任が丁寧に対応しています。	
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
<コメント> 市の認可保育園として、基本的な保育の変更は行政窓口での対応となりますが、日常保育での変更等は、送迎時や園だより、掲示板等で保護者に詳しく説明しています。	
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 当園は市の認可保育園であるため、保育所等の変更については行政窓口で継続性に配慮した対応が行われており、必要があれば連携して対応しています。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 意見箱を各クラスに設置したり年1回の保護者アンケートを実施し、意見を保育の質改善や利用者満足向上に繋げています。また、別途個別相談にも対応しています。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉠・b・c
<コメント> 苦情解決の体制が整備され、玄関には分かりやすい場所に相談窓口の掲示がされています。園の開設以来、第三者委員会で対応する苦情等については発生していません。	
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉠・b・c
<コメント> 園の玄関に、相談・意見の連絡窓口を記載したポスターが、保護者の目につきやすい位置に掲示されています。	

Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉠・b・c
<コメント> 意見箱を各クラスに設置したり、年1回の保護者アンケートを実施しています。また、相談等があった場合には「懇談記録」に内容や対応経過が適切に記録されています。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉠・b・c
<コメント> 「ヒヤリハット」「事故報告書」では、発生要因、今後想定される事故、改善策、保護者の受止め状況など、非常に詳しい状況分析と検討内容が記録されています。	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉡・c
<コメント> 感染症対策マニュアルは整備されていますが、職員への周知については勉強会等を定期的に開催するなどの取り組みを期待します。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉠・b・c
<コメント> 避難訓練は月1回、消防署と連携した消防訓練は年1回実施し、発災時の職員行動が適切に行えるように周知・指導しています。備蓄品も適切な管理ができています。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉠・b・c
<コメント> 保育の作業手順が見てすぐに分かるように、場面ごとに写真を多く取り入れたマニュアルが整備されています。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉡・c
<コメント> 実施方法の見直しは、都度職員会議等で検討していますが、マニュアルへの反映はできていません。定期的にマニュアルを見直す仕組みを期待します。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㉠・b・c
<コメント> 各クラスでは、非正規職員の意見を反映した指導計画をクラス担当が作成し、クラス会議で園長も参加して指導計画内容の最終検討が行われています。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
<コメント> 月案については、毎月のクラス会議で見直して修正しています。また、年間計画にもその変更内容を反映させることで、常に適切な計画へと修正されています。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
<コメント> 保育記録はパソコンで行い、関係職員が内容を確認することができる環境にあります。また、記録内容は主任・園長がチェックして、書き方等のアドバイスを行っています。	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<コメント> 子どもに関する記録文書は、園長により施錠管理されています。また、パソコン内の個人情報などのデータが漏洩しないように各職員によるPW管理が行われています。	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	㉠・b・c
<コメント> 新型コロナウイルスの影響で子育て経験者と直接的な連携は難しいですが、例年は地域の老人会とのイベントや菜園収穫ボランティアなどの連携が図られています。	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	a・㉠・c
<コメント> 行政からの不審者情報への対応や、園の防犯設備を整備していますが、子どもを地域で見守る環境づくり、協力体制構築への取り組みを期待します。	
Ⅳ-1-③ 地域の環境保護に貢献している。	a・㉠・c
<コメント> 子どもに対して水の節水指導はしていますが、ごみの分別や環境保護への関心を向上させる保育の工夫を期待します。	